

湯涌温泉

湯涌温泉は、金沢駅からバスで 40 分、そして兼六園からは車で約 20 分のところにある、石川県で最もアクセスしやすい温泉街の一つだ。街の近隣にありながら、湯涌温泉は趣のある、ゆったりとした空間である。

宿泊客は、特有の郷土料理を提供する、9 つの伝統的な旅館のうちの一つに滞在できる。こうした旅館のほとんどは小さく、温かなおもてなしと個人に合わせたサービスに誇りを持っている。ゲストハウスも一か所あり、ひとり客や低予算の旅行者も利用できる。日帰り旅行者は、公共の温泉施設「白鷺の湯」と、隣接する足湯を楽しむことができる。

湯涌温泉は、スノーシューイング、森林浴、高尾山のトレッキングなど、たくさんの野外リクリエーションを提供している。秋には、周囲の山々の葉が赤や橙色に変わる。

言い伝えによると、湯涌温泉の天然温泉は、1,300 年前に発見されたと言われている。江戸時代（1603-1867）、この場所は、加賀藩（現在の石川県とその周辺）藩主・前田家にとって格好の狩猟場であった。長い狩猟の一日の後、前田家の人々は、心地良い温泉に浸かって寛いだそうだ。